

市では、「新聞を教育活動に活用し、情報活用能力などの向上を図るとともに、将来のリーダーとしての社会的資質の基礎を養う」ことを目的に、市内の小・中学校25校で全国紙1紙、地方紙1紙を活用した教育活動「新聞活用教育事業」を行っています。今号では、沢田小学校と切田中学校の取り組みを紹介します。

沢田小学校

❖ 新聞の活用状況 ❖

低学年の児童でも読めるような内容の記事を集めた低学年コーナーや学習内容と関連のある記事を集めた高学年コーナーなど、図書委員会が中心となって、どの学年の児童でも新聞を読むことができるように工夫をしています。

また、高学年は朝の会で、日直や先生が新聞から気になる記事を紹介しています。取り上げた記事は廊下に掲示し、その記事を活用して意見文を書く活動も行っています。

このほか、学習内容を深めるための資料や調べ学習の資料とするなど、広く新聞を活用しています。



▲廊下に設置された新聞コーナー

❖ 児童が作成した新聞 ❖

気になる記事を切り貼りし、オリジナルの新聞を作成しました。



切田中学校

❖ 新聞の活用状況 ❖

日常的な取り組みとして、日直が朝読書の時間に新聞を読み、気になったニュースをその後の朝の会でみんなに紹介しています。また、毎週末の国語の課題で新聞のコラム欄を視写したり、感想を記入したりして、みんなに紹介合っています。

委員会活動では、図書委員が多目的ホールに新聞ラックを設置し、新聞の入れ替えを毎日することで、生徒がいつでも新聞を読めるようにしています。

このように、いろいろな機会を利用して、日常的に全校生徒が新聞に触れる機会をつくっています。



▲気になる記事を探し、紹介する生徒



▲新聞の入れ替えを行う図書委員

児童・先生からの一言

小川 愛理さん（6年）

今年、東京でオリンピックが開催され、毎日手にする新聞にはオリンピックに関する記事がたくさんありました。その中から興味がある記事を切り抜き、「スポーツ新聞」を作りました。

中屋敷 実央さん（6年）

SDGsに興味や関心があり、この4文字を探しながら新聞を読んでいます。SDGsの17の目標を、みんなで取り組んでいきたいと考え、「SDGsニュース」を作りました。

〈北谷 亮子先生〉

新聞を教育活動に活用していくことで、住んでいる地域だけではなく日本や世界にも目を向けて考える児童が多くなってきています。

また、本年度追加した子ども新聞をはじめ、地方紙や全国紙など多くの記事を読むことで、学力向上としての多読の推奨にも役立っています。

生徒・先生からの一言

東 航正さん（2年）

朝に学校で新聞を読むようになってから、いろいろな出来事について深く考えるようになりました。これからも積極的に世界中の出来事に興味を持ち、疑問を持ちながら、自分の考えを深めていきたいです。

笹森 泉心さん（3年）

国語の宿題で新聞のコラムを写し、意見を書くことを毎週行っています。今起こっている出来事を知ることができ、改めて自分の意見を深められる良い機会になっています。

〈津島 栄子先生〉

新聞では世界のニュースから身近な地域社会の出来事までさまざまなことが伝えられ、新聞1日分をじっくりと読むと、新書を1冊読むのと同じ情報量があります。また受け身ではなく、自ら読むことによって考える力も付きます。

新聞を読み、社会や地域の出来事に関心を持ち、自分の考えを持てる人になってほしいと思います。